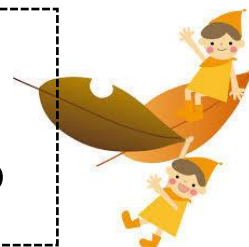


# 漕代小学校だより

松阪市立漕代小学校・幼稚園 平成30年10月29日(月) NO.10

<http://www.koishirosho.com> E-mail:koisi2es@mctv.ne.jp



4月17日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月末に文部科学省から公表され、9月下旬には、松阪市でも概要版の調査結果が発表されました。本調査は、国語A・B、算数A・B、理科、児童質問紙で構成されています。A問題は知識・技能に関する問題、B問題は応用・活用に関する問題となっています。

本校児童は、各教科・領域において平均正答率に及びませんでした。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
松阪市	71.8	54.4	63.3	52.1	59.7
三重県	70.0	54.0	63.0	50.0	59.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

この調査結果は児童が身に付けるべき学力の一部であり、全てではありませんが、子どもたちの学習・生活の習慣や意欲、学校の指導体制等を多面的に捉え、一人ひとりの主体的な学びを実現するために活用していきます。

教職員全員で調査結果を分析し、今後の取組について以下の通りまとめました。

## 【教科に関する調査の結果・分析】

国語	強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。</li><li>・物語を書くときの構成の効果を考えることができる。</li></ul>
	弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>・主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くことができていない。</li><li>・他の物と比較して書くと、読み手にわりやすいということが理解できていない。</li><li>・計画的に話し合うための司会の役割について捉えられていない。</li><li>・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめることができない。</li></ul>
算数	強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・分度器を用いて、<math>180^\circ</math>より大きい角の大きさを求めることができる。</li><li>・十進位取り記数法で表された数の大小について理解している。</li></ul>
	弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>・円周率の意味を理解して、円周率の求め方を式に表すことができていない。</li><li>・示された考えを解釈し、条件を変更した時、応用して考えることができていない。</li><li>・文章問題の答えが正しい理由を、示された数量を使いながら説明することができていない。</li><li>・敷き詰められた模様の中から、条件に合う図形を見つけることができていない。</li><li>・単位量あたりの大きさを求めることができていない。</li></ul>
理科	強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・生物を観察する方法を構想することができる。</li><li>・太陽の位置の変化と光電池の電流の変化を活用して、ものづくりに適用することができる。</li></ul>
	弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>・電流の流れ方について、検流計の針の向きと目盛りを読み取ることができていない。</li><li>・鳥や人の腕のつくりについて、どのような視点でまとめたかを分析することができていない。</li><li>・骨と骨のつなぎ目の名称を覚えていない。</li><li>・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことが理解できていない。</li><li>・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解することができていない。</li><li>・海水と水道水を区別するために、二つの異なる実験の結果を基に考察することができていない。</li></ul>

上記に挙げた内容は、今回の学力調査で平均正答率の高かった問題と低かった問題です。国語科では、話し合い活動、文をまとめること、文を読み取ることに課題があります。算数科においては知識・技能はよく理解でき

ていますが、算数的な考え方や活用について課題があります。理科では、実験・観察が目的になってしまっていて予想や結果の考察ができていないようです。全般的に、途中であきらめてしまったり、最後まで集中できなかったりするところがあると思われます。そこで次のような取組を進めていきます。

- ・国語だけに限らず、全ての教科で書く活動、話し合い活動、読む活動の充実を図ります。
- ・子どもたちのやる気を引き出す「こいしろタイム」をさらに充実させ、継続して取り組みます。
- ・「こいしろタイム」で、計算以外の領域のプリントに引き続き取り組みます。
- ・子どもたちが意欲的に取り組める「自主学习ノート」の取り組みを進めます。
- ・授業改善を図り、分かるよこび、学ぶ楽しさが感じられる授業を積極的に進めていきます。
- ・5年生で学習する単分量当たり、割合については難しい単元で毎年の課題です。「単音量当たり、割合」につながる各学年の学習内容について見直し、確実に定着するようにします。
- ・理科では、「予想→観察・実験→結果の考察」の学習の流れを定着させていきます。

### 【児童質問紙に関する結果・分析】

本校の課題を下記に示します。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

「している、どちらかといえばしている」 本校：41.1% 全国：77.0% (差-35.9%)

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」 本校：58.9% 全国：85.3% (差-26.4%)

自分には、よいところがあると思いますか

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」 本校：70.6% 全国：84.0% (差-13.4%)

将来の夢や目標を持っていますか

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」 本校：64.7% 全国：85.1% (差-20.4%)

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

「している、どちらかといえばしている」 本校：29.4% 全国：67.6% (差-38.2%)

家で、学校の授業の予習・復習をしていますか

「している、どちらかといえばしている」 本校：23.5% 全国：62.6% (差-39.1%)

学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか  
（学習塾での勉強、家庭教師に教わっている時間も含む）

「1時間以上している」 本校：47.0% 全国：66.2% (差-19.2%)

早起き、朝ごはんの習慣はよく身につけていますが、寝る時刻が不規則である児童の割合が多いです。放課後の過ごし方の質問に対して「塾や習い事、スポーツ、テレビやゲーム・インターネット」と答えているところから、忙しい毎日を送っている様子が分かります。

認められていると感じている割合が低いことが、自尊感情の低さにつながり、将来の夢や目標を持ちにくい現状があります。そのことを深く受け止め、自分に自信が持てるように、一人ひとりを大切にしながら認め、声掛け・励ましをしていくこと、夢や目標が持てるようにキャリア教育を充実させていくことに重点を置いた教育活動を行っていきます。

また、学校から出る宿題は確実にできていますが、自分で計画を立てて予習や復習ができていないようです。中学生になると、自分で計画的に勉強をしていかなければなりません。苦手な学習を自分で進め、予習・復習の習慣をつけるようにしていきたいと思います。

子どもたちの更なる成長を願い、保護者・地域の皆様方と共に取組を進めていきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。